



しばた議会だより



気をつけて帰るんだよ は〜い! 

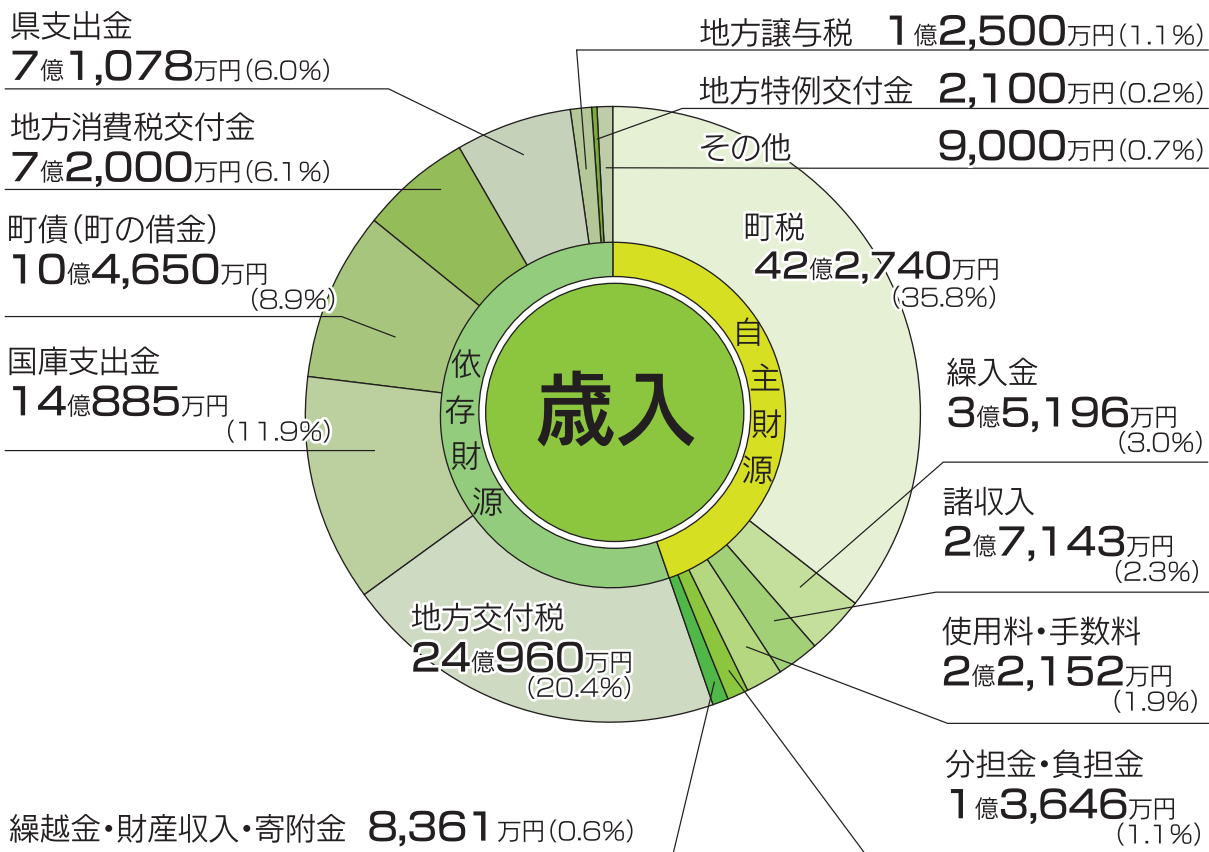
- 3月会議
 - (仮称)柴田町総合体育館建設に向け前進..... 2 ~ 3
 - 今年度の注目事業..... 4 ~ 5
 - 総括質疑(5人)..... 6 ~ 7
 - みんなの税金ちゃんと使ってください!..... 8 ~ 11
 - 条例改正・補正予算など..... 12 ~ 13
- 本会議出欠状況・議案などの審議結果..... 14
- ここが聞きたい 14人の議員が一般質問..... 15 ~ 22
- 常任委員会レポート..... 23
- 委員会活動報告..... 24 ~ 25
- 進む!議会改革「初の議員間討議」..... 26 ~ 27
- あなたの一言(大久保 茜さん)..... 28

育館建設に向け前進

賛成多数
可決

設計委託料に3,500万円の予算措置

歳入総額 118億2,411万円



3月会議は、3月5日から15日までの日程で開催され、平成30年度予算などの審議を行いました。約118億円の一般会計予算は賛成14、反対2で、各種特別会計予算、水道事業会計予算は全会一致でそれぞれ可決しました。

繰越金・財産収入・寄附金 8,361万円(0.6%)

一般会計当初予算は、前年度対比4.6%増の118億2千411万円となりました。一般財源の確保が難しい中、財政調整基金からは3億5千145万円を繰り入れています。なお、30年度末における町債(町の借金)

残高は138億5千289万8千円となる見込みです。

歳出では、民生費が30.8%を占め、北船岡町営住宅4・5号棟新築工事など土木費が14.1%、柴田斎苑建替事業負担金など衛生費が11.0%を占めています。

議会としても、国の動向や町民のみなさんの声を念頭におき、町にとって最大限の効果が図られるよう検証していきます。

グラフ内で使用している用語の説明 (主なもの)

項目	説明
自主財源	町が自主的に調達できるお金
依存財源	国や県などに依存するお金
町税	町に納入される税金
地方交付税	自治体の均衡を保つために国から交付されるお金
国庫支出金	使用目的が決まっている国からの補助金
県支出金	使用目的が決まっている県からの補助金
町債	町の借金
繰入金	町の貯金を取り崩したお金
民生費	福祉全般に使われる費用
土木費	道路や河川の整備・維持費など
衛生費	ごみ処理などに使われる費用
総務費	職員人件費など
教育費	学校施設の維持管理費など
農林水産業費	農林業全般に使われる費用
商工費	観光、商工業に使われる費用
公債費	借りたお金の返済費

各会計の当初予算額

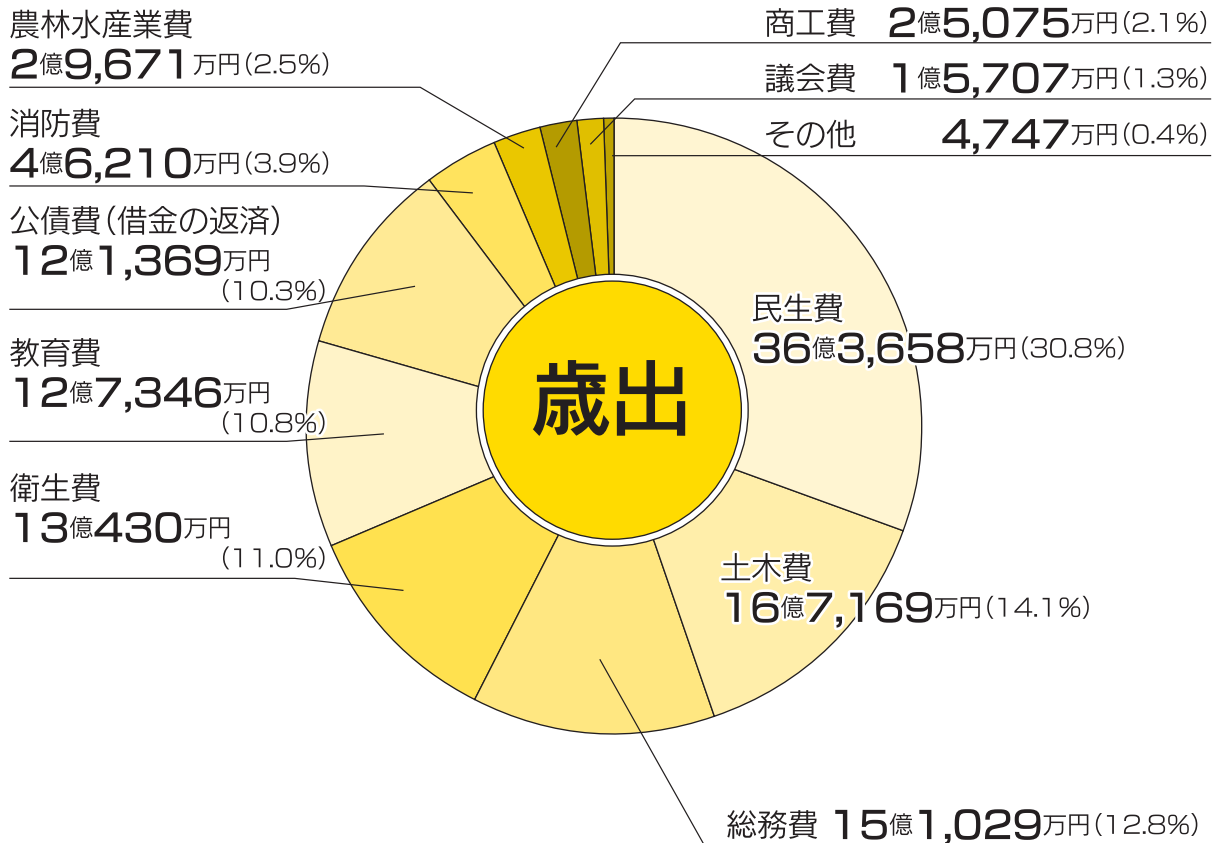
会計区分	平成30年度	平成29年度	前年度比
㊦ 一般会計	118億2,411万円	113億711万円	4.6%
㊦ 特別会計	86億3,040万円	97億2,149万円	△11.2%
国民健康保険事業	39億3,818万円	47億2,795万円	△16.7%
公共下水道事業	13億7,671万円	15億5,648万円	△11.5%
介護保険	28億7,577万円	29億8,650万円	△3.7%
後期高齢者医療	3億9,013万円	4億77万円	△2.7%
土地取得	4,961万円	4,979万円	△0.4%
㊧ 水道事業会計	13億8,671万円	14億8,598万円	△6.7%
計(㊦+㊦+㊧)	218億4,122万円	225億1,458万円	△3.0%

平成30年度
当初予算

(仮称)柴田町総合体

柴田町防災拠点・総合体育館基本

歳出総額 118億2,411万円



討論

平成30年度一般会計予算

30年度一般会計当初予算に対し、それぞれ賛成、反対の立場から討論を行いました。

財政負担が増える中で、いずれも適正な支出を求め、ものであり、給食センターの現状や防災拠点・総合体育館建設に向けた基本設計委託料などの観点から討論となりました。

反対意見

秋本好則議員

給食センターは、天井から雪が落ちるのを漏斗で受けたり、窓枠は虫や埃が入らないようにテープで塞いでいる。早急に予算化すべき。私はこの状態で10年待てとは言えない。子どもの口に入るものを作っている。安全優先が大人の責任では。

賛成意見

佐々木裕子議員

新規・重点事業のほか、子育て支援など、各分野に配慮した予算編成である。特に、防災拠点となる総合体育館基本設計委託料は、今後のトココン跡地の活用に必要な不可欠な取り組みで、体育館建設の全容が見えると考えらる。

白内恵美子議員

町長は「相当の財源不足が懸念される」と警鐘を鳴らした。現在の財政状況では、防災拠点・総合体育館基本設計委託は変更せざるを得ない。事業の優先順位を公正に考えるうえからも、基本設計委託料計上に反対する。

平間幸弘議員

苦しい歳入状況の中、歳出では、社会インフラの整備、地域農業の担い手育成や、農業生産性向上を目指すほ場整備事業などの施策のほか、少子化対策や子育て支援へ予算などの経費が計上されており賛成する。





総 括 質 疑

5人の議員が町政全般にわたって質疑を行いました

総 括 質 疑

問 学校トイレの洋式化は

(1) 各種イベント開催など、行政もかわりながら成長させ、自立できるように努力すべきでは。

(2) リサイクル率は低い状況にある。ストックヤードの活用は認知度が低く、啓発活動をすれば、もっとリサイクル率が高まるのでは。

(3) 今回配属する地域防災マネージャーは、地域とどうかかわり合うのか。

(4) 学校トイレの洋式化は随時計画を立てながら100割を目指すべきでは。

(5) このまま何も手を打たなければ、将来、財政が立ち行かなくなる危険因子とは何か。

町長 100割の洋式化を目指し、計画的に整備する

(1) 交流の拠点となる会場の提供、事務運営や広報活動と、側面からの支援を行う。

(2) お知らせ版などで周知を図り、リサイクル率の向上を目指す。

(3) 身の安全を確保するといった、具体的な行動計画策定の指導にあたる。

(4) 学校トイレは、100割の洋式化を目指し、計画的に整備する。

(5) 総合体育館や図書館、給食センターなど、同時に建設に着手した場合、財政が立ち行かなくなる可能性があることを知ってもらいたい思いで発言をした。



吉田和夫 議員

総 括 質 疑

問 情報発信は

(1) シティプロモーションは、住んでいる人が自治体への愛着や誇りを高め、町内外に自治体の魅力をPRしていくことで交流人口の増、移住・定住人口の増につながる。プロモーション政策について、今後、どのような戦略展開をしていくのか。

(2) シティプロモーション戦略でどのような連携を図り、テーマやストーリー性を發揮していくか。

(3) 情報発信は。

(4) 交付金などを活用したさまざまな事業が行われている。参加している方々の意見をどう反映させていくのか。



平間奈緒美 議員

町長 モバイル端末用アプリの活用を検討

(1) 本町の知名度を上げるための積極的なプロモーション活動を展開し、住民においては※シビックプライドの醸成を図っていくことが今後の重要な施策であると認識している。「花のまち柴田」をメインとしたシティプロモーション活動をさらに強化していく。

(2) 自然、雪、温泉、花、動物、食材や郷土料理など、仙南各地域の魅力を結びつけた周遊ルートを整備していく。

(3) モバイル端末用アプリの活用を検討していく。

(4) イベントの企画段階から意見を取り入れていく。

※シビックプライドは「自分の住んでいる町に誇りや愛着を持ち、自らもこの町を形成していると認識を持つこと」。

総括質疑



秋本好則 議員

問 中心市街や商店街の活性化とは何を想定しているのか。

(1) 観光消費が増えなければ意味がない。街中へ誘導するように歩行者専用道路にしてはどうか。

さくらの里の店舗を交代制にすれば活性化に役立つのでは。

(2) 船岡駅前の交通量が、平成22年は平成17年の半分になった。町長の考える中心市街地や商店街とはどこを考えているのか。

(3) 館山では自生の樹木の切り倒しが続いている。これでは本当の郷土愛が育たないので、シビックプライドを持つ住民はありのままの郷土を受け入れ、尊重することが必要と私は考えるが。

町長 船岡駅と榎木駅、北船岡、大沼通線と新栄通線エリアを想定

(1) 生活道路のため、歩行者専用道路にしても、有効かどうかわからない。店舗は出店希望者がいなかったら、こちらからお願いしてきた経緯がある。

(2) 中心市街地とは船岡駅と榎木駅、北船岡、大沼通線と新栄通線エリア。ここに大型店、コンビニ、そして既存店舗が散在する形を想定している。

(3) 館山の伐採は、風通しを良くするため、育ち過ぎの樹を伐り、あとは雑木やナラ枯れ対策の伐採で桜の樹ではない。郷土愛とは、自分の地域を誇らしく思い自発的に行動する心である。

総括質疑



白内恵美子 議員

問 財政が立ち行かなくなる危険要因とは

町長 社会保障費・人件費・修繕費・公債費の増が最大の要因

町長の施政方針に「ここに来て相当の財源不足が懸念されるに至っている。このまま何も手を打たなければ、将来財政が立ちいかなくなる危険要因もはらんでおり、公共施設等総合管理計画を踏まえながら、誤りのないかじ取りをしていかなければならない。」とある。

(1) 相当の財源不足、将来財政が立ち行かなくなる危険要因とは。

(2) 相当の財源不足が懸念される事態を、住民にどのように説明するのか。

(3) 将来の財政に禍根を残さないために、今なすべきことは。

(1) 歳出では、社会保障費の増、保育士・司書・教員などの定数の増、施設の老朽化による修繕費の増、今後4年間は借金返済のための公債費の大幅増が最大の要因である。今後の危険要因は、総合体育館、図書館、給食センターの建設と、仙南広域や中核病院への負担金増がある。

(2) あらゆる機会を活用し現在と将来の財政について丁寧な説明していく。町長の財政について正しく理解していただくことが重要である。補助金やふるさと納税を活用し、一般財源を確保することが行政側の務めだと思う。

総括質疑



水戸義裕 議員

問 シティプロモーションの推進は

(1) 効果を上げるシティプロモーションは、オール柴田による自主的かつ継続的に推進する必要がある。効果をあげる政策研究が必須であるが、これをどの部署で管理するのか。

(2) シティプロモーションを共通事項とした産官学の融合の場に「シティプロモーション自治体等連絡協議会」がある。これに参加する考えはないか。

(3) 30年度より、減反の廃止など、従来とは違う国の農業政策が始まる。町の基幹産業である今後の農業政策は。

町長 全庁を挙げて取り組んで行く

(1) 観光拠点である、船岡城址公園に来る、花の好きな女性をターゲットに事業を行ってきた。今後も「花のまち柴田」のブランド化を図るため、全庁を挙げて取り組んでいく。

(2) 協議会の事業計画など、改めて調べる。本町のシティプロモーションにも有効であれば参加することも検討する。当面は、宮城インバウンドDMOなどと連携し、事業を展開する。

(3) 集落営農の推進や担い手を確保し、地域の農業資源を活用した、6次産業化へとつなげ、本町に合った農業政策を今後展開していく。

30年度一般会計当初予算・特別会計

予算審査特別委員会報告

3月12日から14日までの3日間、予算審査特別委員会を開催しました。執行部から提案された、30年度一般会計予算、各特別会計、企業会計予算について質疑を行い、税金の使い方を審査しました。

みんなの

税金

ちゃんと使ってください！

歳入

学校大規模改造工事の予定は

質疑 小中学校の大規模改造工事は順次行うという事で計画されている。今後の計画は。

答弁 国では、40年を超える老朽化した校舎、耐震化のほうが優先という考えのため、東船岡小学

校大規模改造工事は当初予算の補助事業で申請している。

今後、柴田小、西住小についても、30年を超えている施設であることから、大規模改造工事を計画策定していく。



大規模改造工事中の船岡小学校

普及している電子タバコは

質疑 たばこ税が減少している。その要因は。

答弁 紙巻きたばこから加熱式たばこに移行する人が多いことから、予算として積算するのは難しい。総額で700万円の減額で予算を組んでいる。

基金の実態調査は

質疑 全自治体に対して基金の実態調査があったが、どのような調査だったのか。

基金については、基金残高と中期的な増減見込み、特定目的基金については、基金の名称、基金残高、使途区分、ハード、ソフトへの充当可否の中期的な増減見込みなどが調査の内容である。

答弁 財政調整基金については、基金残高、積み立ての理由や考え方、中期的な3年から5年の増減見込みについて。減債



受動喫煙防止にご協力ください

歳出

まちづくり
政策課

第6次柴田町総合計画策定は

質疑 第6次柴田町総合計画策定支援業務委託について、30年度のスケジュールは。

答弁 30年6月までに、アンケートの結果を分析、また、第5次後期計画の進捗状況などの確認調査を行う。夏にかけ、基本構想の骨子案を作成し、年明けまでに基本の施策、

目標値を設定し、基本計画の案を作成する。同時に総合計画審議会に諮問、パブリックコメントを実施する。31年2月に総合計画審議会から町への答申がある。

質疑 作業業務の委託内容は。

答弁 町の個々の計画における基礎調査を収集して分析をする。さらに住民意識調査の内容を分析する。



持続可能なまちづくりについての研修会

総務課

全国瞬時警報システム導入へ

質疑 全国瞬時警報システム新型受信機導入について説明を。

答弁 全国瞬時警報システムの新型受信機の購入

は、30年度中に全ての自治体で導入、更新が義務づけられているため、今回計上した。

福祉課

敬老祝金・祝い品は

質疑 敬老祝金、祝い品の対象者は。

答弁 敬老祝金対象者は、88歳を迎える方で192人。100歳を迎える方への敬老

祝い品対象者は、13人となる。1人当たり5万円の記念品を想定している。

まちづくり
政策課

ふるさと納税PRへ

質疑 ふるさと納税広告料の内容を。

答弁 「ふるさと納税ニッポン！」という全国で有名なガイドブックに、柴田町のPRを2ページにわたり掲載するため、予算計上した。



展望デッキからのビューポイント



柴田町スポーツ振興議員連盟による研修会

地方創生
事業費

フットパス事業の進捗は

質疑 フットパス関連事業委託料の説明を。

答弁 コースの開発、イベントの開催、看板の設置、ホームページの管理、マップの作成など、全国フットパス大会に向けての企画運営費となる。

質疑 11月に企画している全国フットパス大会の進捗状況は。

答弁 全国フットパス大会は、11月3日は2コースを、2日目は5コースを歩く計画をしている。今後は実行委員会を立ち上げ、内容を詰めていく。

町民環境課

電気量削減ポイント化へ

質疑 温室効果ガス削減推進事業報償の内容は。

答弁 29年度は、環境フェア時に電気料の審査に当たっていた方への報償費を支払う計画。

報償金としていたが、30年度は電気料が前年度と比較して減額した人を対象に、ポイントに応じた報償費を支払う計画。

まちづくり政策課

「よくわかる町の仕事と予算」廃止へ

質疑 「よくわかる町の仕事と予算」が30年度では予算計上がされていない。その理由は。

答弁 住民懇談会や出前講座、また、広報紙で予算説明について対応ができていないため、30年度は「よくわかる町の仕事と予算」をやめ、その経費を有効活用している。



11年間発行された「よくわかる町の仕事と予算」

財政課

庁舎トイレ改修工事を

質疑 庁舎東側1階トイレの改修工事の詳しい内容は。

答弁 車椅子での利用がしづらいことから、男子・女子トイレの改修を行うほか、多機能トイレも新設する。工事内容は、

既存トイレの洋式化に伴うレイアウトの変更及びトイレブースの改修、多機能トイレは、オストメイト対応、ベビシートを設置する方向で進めている。

健康推進課

体組成計導入へ

質疑 体組成計リース料を計上している。内容は。

答弁 1年間分のリース料金を計上。5カ年リースしていく予定。設置場

所を常設にするのか、健康教室のときに毎回使用するかは、これから検討していく。

農政課

イノシシ対策は

質疑 農林作物鳥獣被害防止対策事業補助金が60万円増額となっている。その内容は。

答弁 内容は昨年と変わりなく、電気柵、免許講習会、捕獲箱わなに対する補助であるが、捕獲頭数の増加を見込んで補助金を増やした。

子ども家庭課

放課後児童クラブ改修工事

質疑 船岡放課後児童クラブ改修工事、槻木放課後児童クラブ改修工事、船迫放課後児童クラブ改修工事の内容は。

答弁 31年4月から、4年生から6年生までの受け入れを可能にする改修工事となる。それぞれ、国・県の補助を受けて、改修する。

質疑 放課後児童クラブの改修工事の時期は。

答弁 船岡放課後児童クラブ改修工事は、大規模改造と同時並行で進めていく。工事が始まったら、別な場所を提供していただき、そこに移動して児童を見るところになる。槻木放課後児童クラブ・船迫放課後児童クラブの工事は、夏休みを考えている。



児童クラブで遊ぶ子どもたち

教育
総務課

学校給食センター関連事業

質疑 給食センター屋上防水改修工事の内容は。

答弁 今回は、全体的に喫緊の課題である雨漏りに対しての防水工事を計上している。雨漏り、水漏れをとめる効果的な工事ができるよう、現場を確認しながら新年度に向けて検討している。

質疑 新学校給食センター整備調査事業10万円を計上している。どのような内容を調査するのか。

答弁 職員が中心となつて、今後、新しい給食センターを建てた場合、どのような機能が必要でどのような建物になるか。また建築方法など1年かけて検討していく。

生涯
学習課

埋蔵文化財調査員は

質疑 埋蔵文化財調査臨時職員賃金の内容は。

答弁 ほ場整備が始まり、町の埋蔵文化財の部分の試掘調査を進める。

町で独自に調査員を確保するということで、今回予算化した。今後、県の協力をもらい、人選に当たる。

都市
建設課

町道富沢16号線の進捗は

質疑 町道富沢16号線道路改良工事について、工事の進捗率は。

答弁 30年度は、延長4千740分の両側に側溝を入

れる工事内容となる。進捗率は53割程度である。

スポーツ
振興課

総合体育館基本設計へ

質疑 柴田町防災拠点・総合体育館基本設計委託料の説明を。

答弁 土地の造成工事の設計も含まれるので、「防災拠点・総合体育館基本設計」としている。建築の総合設計、構造、設

備、入札方法の検討を行う予定。土地造成分については、地質の解析、造成の設計や自衛隊等に提出する書類などの作成を予定している。そのほかには、外観、内観のイラストを作成する。

商工
観光課

ナイトツーリズムでPRを

質疑 ナイトツーリズム受入環境整備事業委託の内容は。

答弁 花のまち柴田の夜間観賞を推進する。夜間の花々をPRすることで、観光資源としての価値を高めながら集客増を図る事業である。



柴田町の新たな観光スポット

●予算審査特別委員会出欠状況及び審議結果一覧

区分	主な内容	月日	出席者数 (△)	賛成 (○)	反対 (×)	議決結果	森 裕樹	加藤 滋	安藤 義憲	平間 幸弘	桜場 政行	吉田 和夫	秋本 好則	斎藤 義勝	平間 奈緒美	佐々木 裕子	安部 俊三	森 淑子	広沢 真	有賀 光子	舟山 彰	白内 恵美子	水戸 義裕	高橋 たい子
出欠状況	正副委員長の互選等	3.9	16				○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	平成30年度予算審議	3.12	16				○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	平成30年度予算審議	3.13	17				○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	平成30年度予算審議	3.14	17				○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

※「○」は出席、「欠」は欠席、「早」は早退、「遅」は遅参を表す。※議長は予算審査特別委員にはならない。

審議結果	議案番号	議案内容	月日	出席者数	賛成	反対	議決結果	森	加藤	安藤	平間	桜場	吉田	秋本	斎藤	平間	佐々木	安部	森	広沢	有賀	舟山	白内	水戸	高橋
	議案第34号	一般会計	3.15	18	15	2	議案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	議案第35号	特別会計 国民健康保険	3.15	18	17	0	議案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	議案第36号	特別会計 公共下水道	3.15	18	17	0	議案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	議案第37号	特別会計 介護保険	3.15	18	17	0	議案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	議案第38号	特別会計 後期高齢者医療	3.15	18	17	0	議案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	議案第39号	特別会計 土地取得	3.15	18	17	0	議案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	議案第40号	企業会計 水道事業	3.15	18	17	0	議案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	

※「○」は賛成、「否」は賛成しないことを表す。

条例の制定及び一部改正

☆介護保険料の改正

(平成30年度～32年度適用)

<介護保険料改正>

	要件	掛け率	保険料(千円/月)
第1段階	生活保護世帯 世帯全員が町民税非課税で高齢福祉年金受給者 または前年の年金収入等が80万円以下の方	0.45	29,160 (軽減層)
第2段階	世帯全員が町民税非課税で 前年の年金収入等が80万円超120万円以下の方	0.75	48,600 (軽減層)
第3段階	世帯全員が町民税非課税で 前年の年金収入等が120万円を超える方	0.75	48,600 (軽減層)
第4段階	本人が町民税非課税(世帯に課税者)で 前年の年金収入等が80万円以下の方	0.9	58,320 (軽減層)
第5段階	本人が町民税非課税(世帯に課税者)で 前年の年金収入等が80万円を超える方	0.1 (基準額)	64,800 (基準額)
第6段階	本人が町民税課税で前年の合計所得が 120万円未満の方	1.2	77,760
第7段階	本人が町民税課税で前年の合計所得が 120万円以上200万円未満の方	1.3	84,240
第8段階	本人が町民税課税で前年の合計所得が 200万円以上300万円未満の方	1.5	97,200
第9段階	本人が町民税課税で前年の合計所得が 300万円以上の方	1.7	110,160

介護保険料が変更になります

議案第50号

今回の条例改正は、「第7期介護保険事業計画」の期間となる30年度から32年度までの3年間に適用されます。前期間同様、所得に応じて9段階となり、各保険料は、図の掛け率に基準額(6万4千800円)を乗じた金額になります。

3月会議では、介護保険条例の改正など条例改正7件、町指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準等を定める条例など、新規条例2件及び廃止条例1件について審議し、原案のとおり可決しました。

論議の改正

介護保険条例

反対意見

広沢 真議員

現状でサービスの抑制は起こっていないが、介護保険料の値上げは介護を受ける人にとって大きな影響がある。今後の介護サービス抑制につながるかもしれないことから、介護保険料の引き上げに反対する。

賛成意見

水戸義裕 議員

持続可能性の確保のため、見直しを行うもの。要介護認定者の増加に伴い、給付費は年々増加している状況だが、基金を取り崩した軽減策もあり、基準額500円の上昇となるが、支援するためにはやむを得ない。

議案第45号

町指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準等を定める条例を制定

県で実施していた居宅介護支援事業所の指定が、町に権限が移譲されました。今後、町が事業所の指定や更新申請を実施するため制定しました。

議案第46号

県営土地改良事業に係る特別徴収金に関する条例の制定

県が実施する土地改良事業の施行地域内の農用地において、目的外用途への転用や農地中間管理権の解除を行った場合、町で特別徴収金を徴収する規定を制定しました。

議案第48号

町国民健康保険税条例の改正

都道府県が市町村と共同で国民健康保険事業を運営することになり、制度移行後の安定的な財政運営や、効率的な事業運営の確保のため保険料の算定方式等を改めます。

議案第53号

消防団員の定員、任免、給与、服務等に関する条例の改正

地域防災力の更なる向上と団員不足を補うため、年度末に70歳で定年退職する消防団員を、再任用消防団員として任用する条例の改正。また、今回の改正では、町外から通学する学生も消防団員とすることができま

人事案件

○固定資産評価審査委員の選任に同意



笠松 富士夫氏(新任)
(下生名字前田)

○人権擁護委員の推薦

木島 基子氏(再任)
(西船迫2丁目)

3月会議

ふるさと柴田応援基金 健康つながり基金の積み立てへ

一般会計総額
122億182万円に

◆ 29年度一般会計補正予算

会計区分	補正額	補正後	
一般会計	2億7,645万円	122億182万円	
特別会計	国民健康保険事業	△2億787万円	47億2,528万円
	公共下水道事業	2億9,524万円	18億2,921万円
	介護保険	△8,047万円	28億9,032万円

主な事業	補正予算額
阿武隈急行緊急保全整備事業費等補助 (車両など設備の更新に要する経費補助)	1,318万円
ふるさと柴田応援基金積立金 (首都圏新聞への広告、返礼品の充実による増額)	1億3,600万円
健康つながり基金積立金(指定寄付) (衛生費寄附金として指定寄付)	1,000万円
中生名・下生名農地整備事業負担金 (ほ場整備事業負担金)	2,990万円
西住小学校消防用設備改修工事 (校舎から体育館への給水管の布設)	259万円
船岡小学校大規模改造事業 (主に南校舎の床の張替え、壁・天井の塗り替え等)	1億9,376万円
船岡中学校大規模改造工事(空調) (各教室の暖房機をF F式ファンヒーターに更新)	7,000万円

平成29年度3月会議での一般会計補正予算は、歳入では、事業費確定に伴う国県支出金の財源補正のほか交付金の交付見込みに伴う増額、財政調整基金戻し入れなど。歳出では、事務費や事業費の確定による減額補正で、ふるさと柴田応援基金や健康つながり基金への積立金のほか、国の補正予算で実施するほ場整備事業に要する経費などを計上しました。審議の結果、全会一致で可決しました。

また、3月15日に町職員の給与に関する条例の一部改正及び一般会計補正予算が追加提案されました。補正予算の内容は、国の補正予算により、補助事業として採択された船岡小学校及び船岡中学校の、大規模改造工事に係る委託料や工事請負費などです。こちらも審議の結果、全会一致で可決しました。



政宗ブルーライナー(阿武隈急行)

議案第54号

災害援護資金の貸付は

【質疑】災害援護資金貸付金の件数は。

【答弁】当初30件。繰り上げ償還が7件あり、現在23件である。本事業は、31年3月末まで1年延長された。

交通指導隊員の報酬減は

【質疑】交通指導隊員報酬の減額の内容は。

【答弁】船岡新米に信号機が新たに設置されたことによる出勤不要と、隊員退職での出勤減になり、報酬が104万円減となる。

西住小学校の工事は

【質疑】西住小学校消防用設備改修工事の内容は。

【答弁】消火栓配管からの漏水があったため、地中埋設箇所新しい管を布設する。金額は259万円になる。

2月会議

議案第32号

柴田町健康つながり基金条例を制定

個人寄附金を有効に活用するため、町民が健康づくりに取り組める環境の整備や、自立した生活ができる健康寿命の延伸を図るため本条例を制定しました。

議案第33号

29年度一般会計補正予算

ふるさと柴田応援推進事業1件について審議し、全会一致で可決しました。内容は、返礼品や業務委託などで、補正額は、1千528万8千円でした。

4月会議

4月2日開催

通年議会が始まりました

30年度4月会議を開き、今年度の議会の会期について、4月2日から翌年3月31日までとすることを、全会一致で可決しました。